

事業所名

幸のつどい春野事業所（放デイ・児童発達）

支援プログラム（第1案）

作成日

令和6年

11月

7日

法人（事業所）理念		ご利用者様とご家族が希望を持ち、その人らしく、毎日笑顔で明るい生活が送れるように。 ご利用者様・ご家族・スタッフみんなが共に支えあい、小さな体験も大切に。 ご利用者様が地域の中でも楽しく、社会参加できるように。								
支援方針		利用者様1人1人にあった方法で活動に参加し、諦めずチャレンジし色々な体験や、やりたいことを実現することが出来るよう関わります。 小さな体験を少しずつ積み重ねて、楽しさや喜びを感じてもらえるよう関わります。 保護者様に安心して休息や就労・兄弟児さんとの時間を楽しんでいただけるよう取り組みます。								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事・排泄・整容・着脱・準備・片付け 手洗い 緊急時の対応方法確認 生活リズム、生活習慣の習得・安定 健康の状態の把握 基本的生活動作の獲得、食事・トイレ・返事・あいさつ 生活環境の整備 部屋のレイアウトを含めた環境整備								
	運動・感覚	姿勢・移動・ジャンプ・ボール・掴む・引っ張る・はめる・貼る・塗る・書く・ちぎる・こする・体ほぐし・散歩・プール バランスボールを使った体の動き リハビリの実施 リトミック（音楽に合わせて体を動かす） 視線入力・スイッチ 姿勢保持・良肢位他業種との連携 視覚・聴覚・触覚を活用できる遊びの提供 スパイダー ままごと								
	認知・行動	色・身体部位・感情・数・図形・時間 タブレットを使った学習 視覚・聴覚・触覚などを使っての情報を得認知機能の 発達を促す制作・ふれあい遊びの実施 発達に応じた色・数・ものなどの習得 リトミック 読み聞かせ 外出（季節の変化を感じる）								
	言語 コミュニケーション	非言語（身振り・指差し・ジェスチャー・泣く・笑う）・言語（発声・単語）・指示理解・読む 選択（2者択一） 他児者とのおもちゃの共有ややり取り 絵カード・実物をつかったかかわり 模倣遊び・話しかけ 利用者さんにあったコミュニケーション手段（表情・身振り・発声・指差し等）の活用 受容だけでなく、能動的な発信を大切に 読む力を大切に コミュニケーションツールの活用 読み聞かせ								
	人間関係 社会性	集団・個別・学校・園生活 職員の子ども（健常児）との関わり 他者との関わり・個人・集団 戸外活動 役割を持ったレク活動 模倣遊び・ごっこ遊び イベントを通したいろいろな人との関わり								
家族支援		子どもに関する情報提供 課題、悩みなどの聞き取り、必要な助言 談支援員との定期的な情報共有・支援会議への参加 関係機関、関係者との連携 兄弟児を含めた悩みの聞き取り、助言 必要時には学校・他事業所・相談支援・子育て支援課・児童相談所等との情報共有・連携 レスパイト 柔軟な受け入れ対応 送迎（児に応じた） ¹⁵ どこに入る・・・			移行支援		家族への情報提供 相談支援・移行先・進路との情報共有 移行先・進路先との支援内容の共有、支援方法の伝達 利用日数、曜日の調整 生活介護への移行時の情報提供・共有			
地域支援・地域連携		医療機関、児童相談所等専門機関等連携 教育機関との連携 支援会議への参加 地域の行事への参加			職員の質の向上		毎月1回～研修、経営計画発表会、虐待防止・身体拘束適正化委員会、ノーリフティングケア委員会、上司との面談、SDGs推進委員会、環境整備、外部研修、新たな資格へのサポート、懇親会、ノー残業デー、新人教育			
主な行事等		保護者会・交流会（年3回～）、避難訓練、プール、クッキング、お買い物、ハロウィン、節分、クリスマス、お出かけ、コンサート、eスポーツ大会への参加、その他多種多様なレクリエーション								